事例No.	1468
公表年度	R3
団体の属性	複数団体
団体名	長野県、塩尻市、須坂市、小諸市、松川町

事例区分	広域連携

タグ	・事務の共同実施 ・RPA ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	複数団体による業務プロセスの標準化

事例内容・タイトル

複数団体による業務プロセスの標準化④

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和４年３月公表）

複数団体による業務プロセスの標準化④

＜ 長野県、塩尻市、須坂市、小諸市、松川町 ＞

○**長野県が中心となって団体間の調整**を行いながら、①住民基本台帳（転入届）、②個人住民税（特別徴収異動届）を対象に、**業務プロセスにおけるＲＰＡ等のＩＣＴツールの活用可能性**を検討

※令和２年度自治体行政スマートプロジェクト（第三次補正予算関係）採択事業

課　題

○紙媒体から基幹系システムへの入力作業及び入力ミスを防止するための内容確認作業に時間を要している
○小規模団体においては、**ライセンスや機材の調達に係る財政的負担**やＩＣＴツール活用に伴い発生する**調達・導入・運用に係る事務負担**が課題

取　組

○複数団体間での細かな業務プロセスの比較を行い、標準仕様に準拠した業務プロセスに基づき、**ＩＣＴツールの活用可能性を検討**
○ＩＣＴツールの共同化を見据えた実証環境を構築し、ＲＰＡ、ＡＩ-ＯＣＲの導入効果を検証

成　果

○標準準拠システムへの移行直後のあるべき姿（To-Be）に向けて、そこに至るまでの実現可能なステップ（Can-Be）について、ＩＣＴツールの活用可能性を検討
○各団体ごとにＲＰＡ、ＡＩ-ＯＣＲの活用により、**作業時間の削減**が見込めることが判明

⇒　ＩＣＴツールに係る共同調達・共同運用の手法等について、今後検証していく予定

